



青皇和漢神仙圖繪



文化二五歳

歳と

ほのうたう 沖よかをんろをんそあ

年捐 糸川赤山とてお花

敷るえそくも多し子踏鞠

廿一年

浪善桃林

一炊菴



喜興

柳

の意

ふらふらあり

梅の上木

一櫻井

龜文子

あき略

和上位玉君

嘉保のり

あき入るるそ

ほくまきし

善の如し

多路紙写佳免天

相模

其婢答曰唯指之按獻
紅衛白助哦詞氣多
是影為人住不賞東
也是癡

白く好也 生生瑞馬

ちんちん
減ぬおん



歳旦

石久濱田

久佐

有幸

初之

あつち

あつち

喜興

多料

学細

あつち



青皇

南枝元唐蕪

つゆくや初水

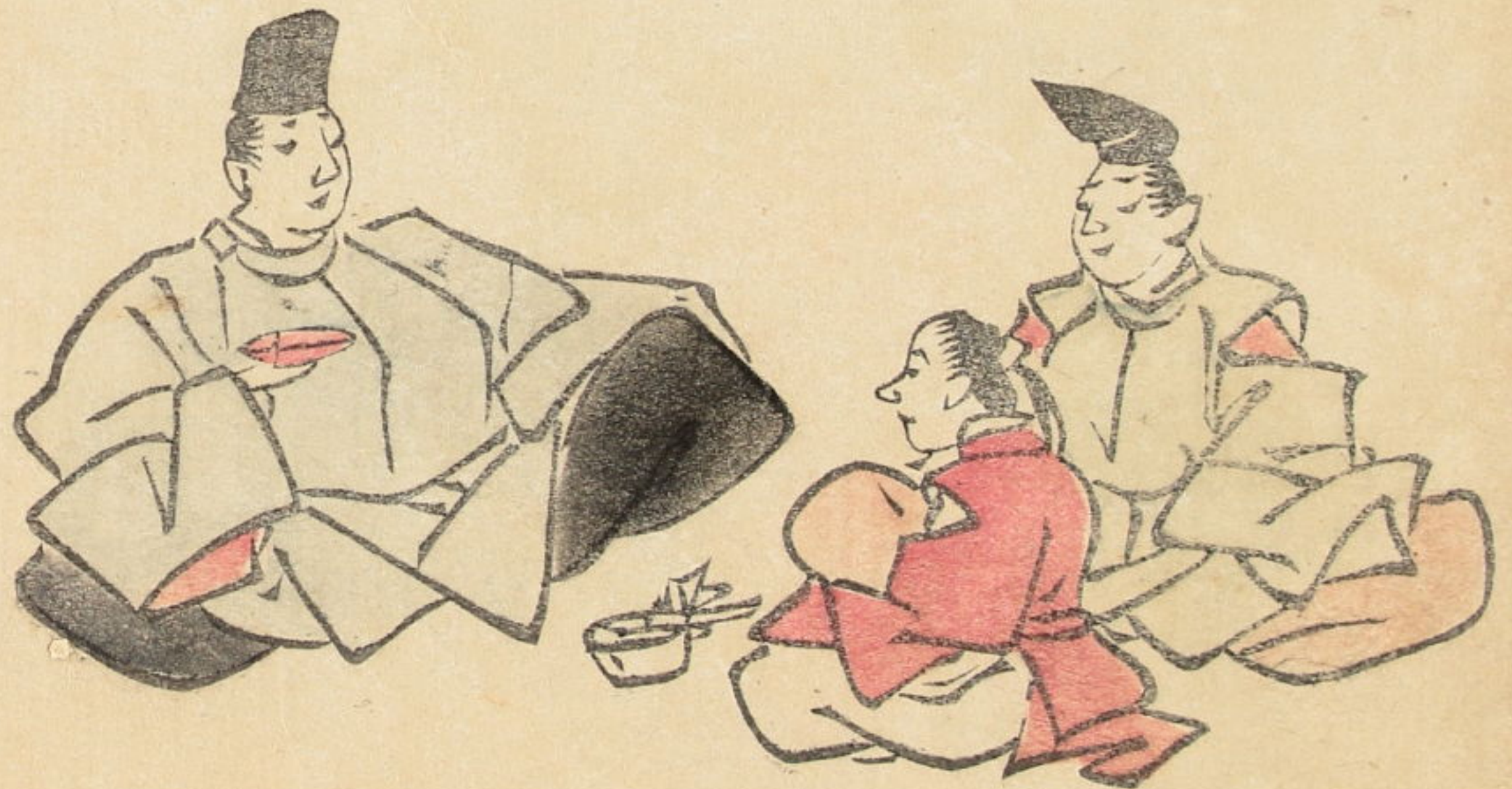
喜興 別系福天林

松

紅梅殿も日の

ゆ

亀洞



歳旦

別原元桐谷 老乃天林

初水也あま

松の元の水

喜興

喜興元唐蕪 別系福天林

喜興



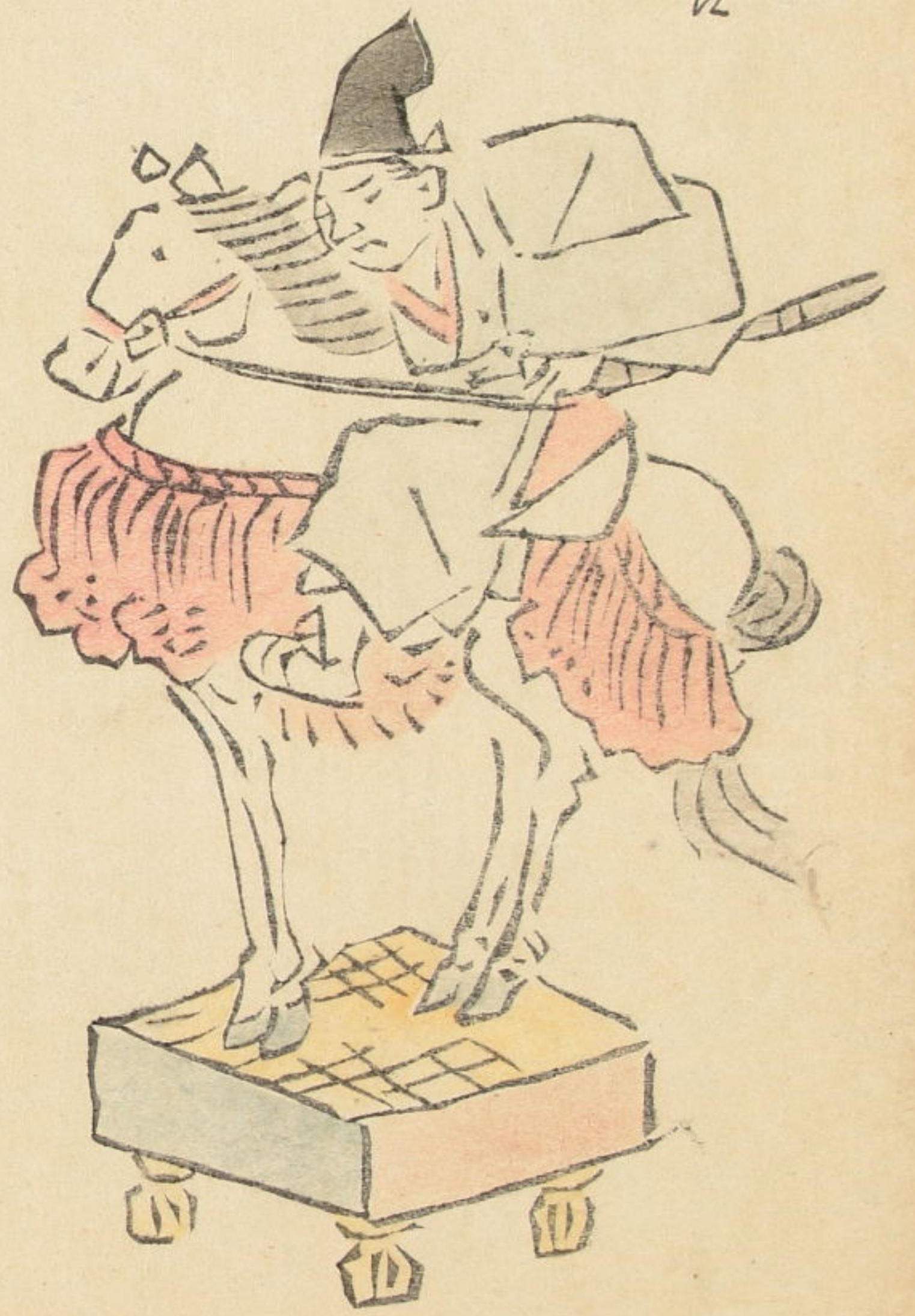
歳旦
新三徳の世帯官

そんまゝの

水山
初ま

喜無

初乃
日し



初ま

瓢泉齋

歳旦

初鶉や風名りきり

初ま

節ま作の直まをさまは

喜無

まのぬの 鍍まらる 柳 う南

播州竜野

林亭

雨隣

いし

ぬま

歳始

影宮崎七浦

廻廊のあけ

初日は五の

まのまの 所くたれち

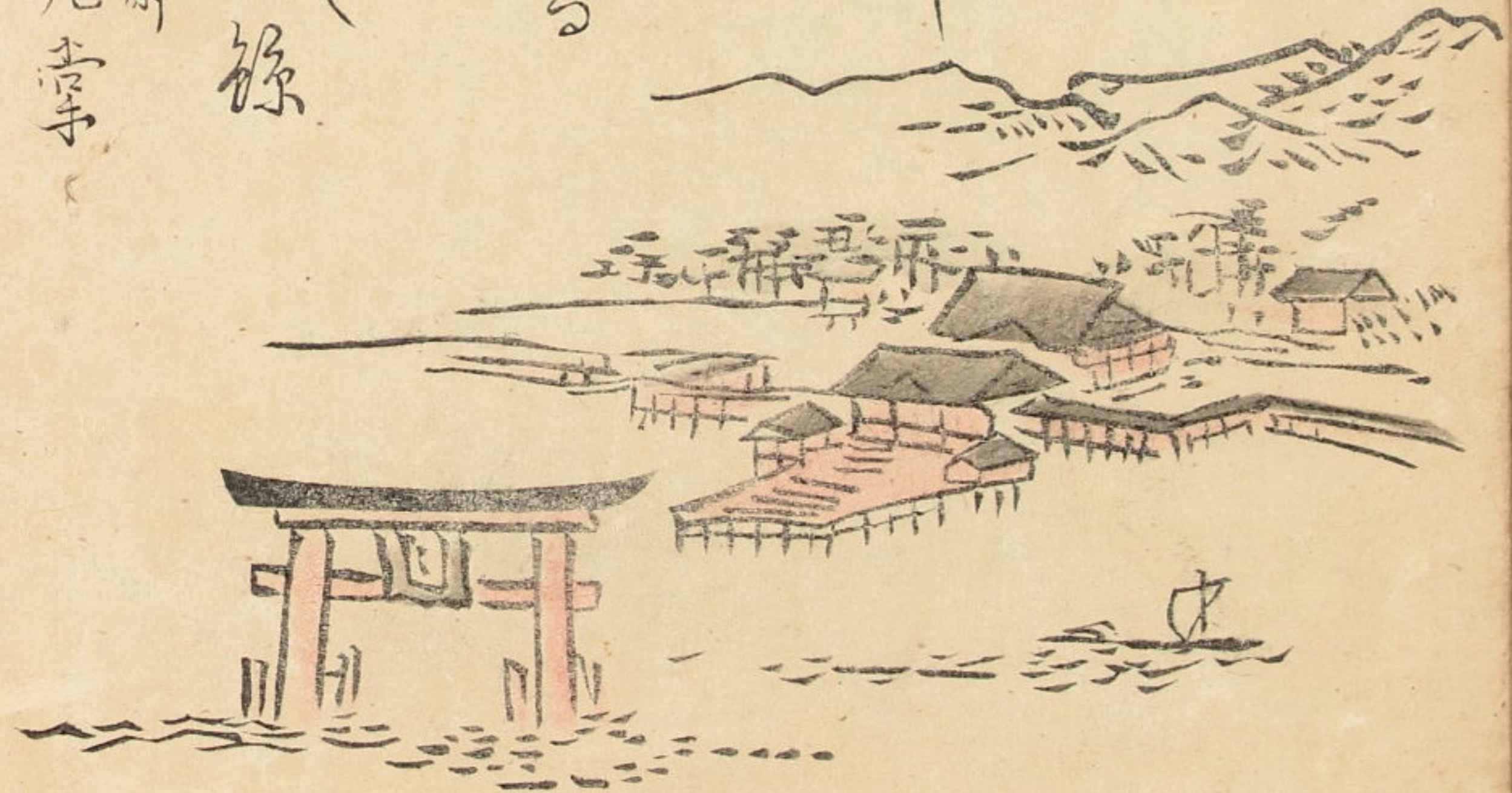
米ハさ福ハ代れ

喜興

七浦もくまのめり
初録

一如齋

几堂



歳旦

影運の神

葛峰鉦

幸郷

舟と浪

機

日の

幸神

花

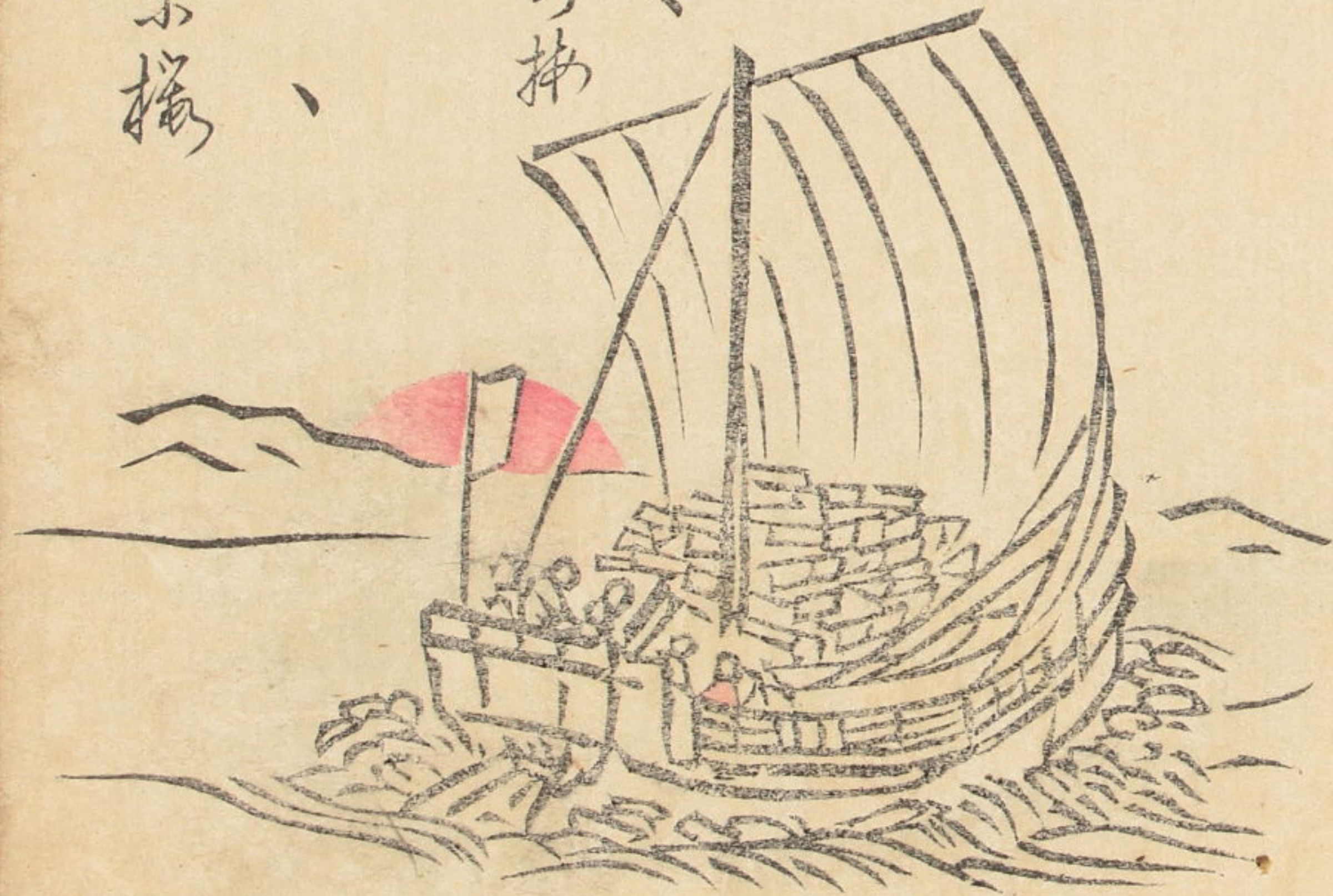
春もよひ年の尾

空を

喜興

日のあけ

系楯



歳と 歌玉津嶋

元新中

浪平らみ 新家の浦

一時軒 龜籠

せいの

とらふ事頭

知る事 解る

の保

喜保

冊 喜をさしうらう 炭うさう

歳と 金津の辺り

とらふの往來

自抄

志つげ

自抄のま

喜をさ

いそぐ 祭りのま

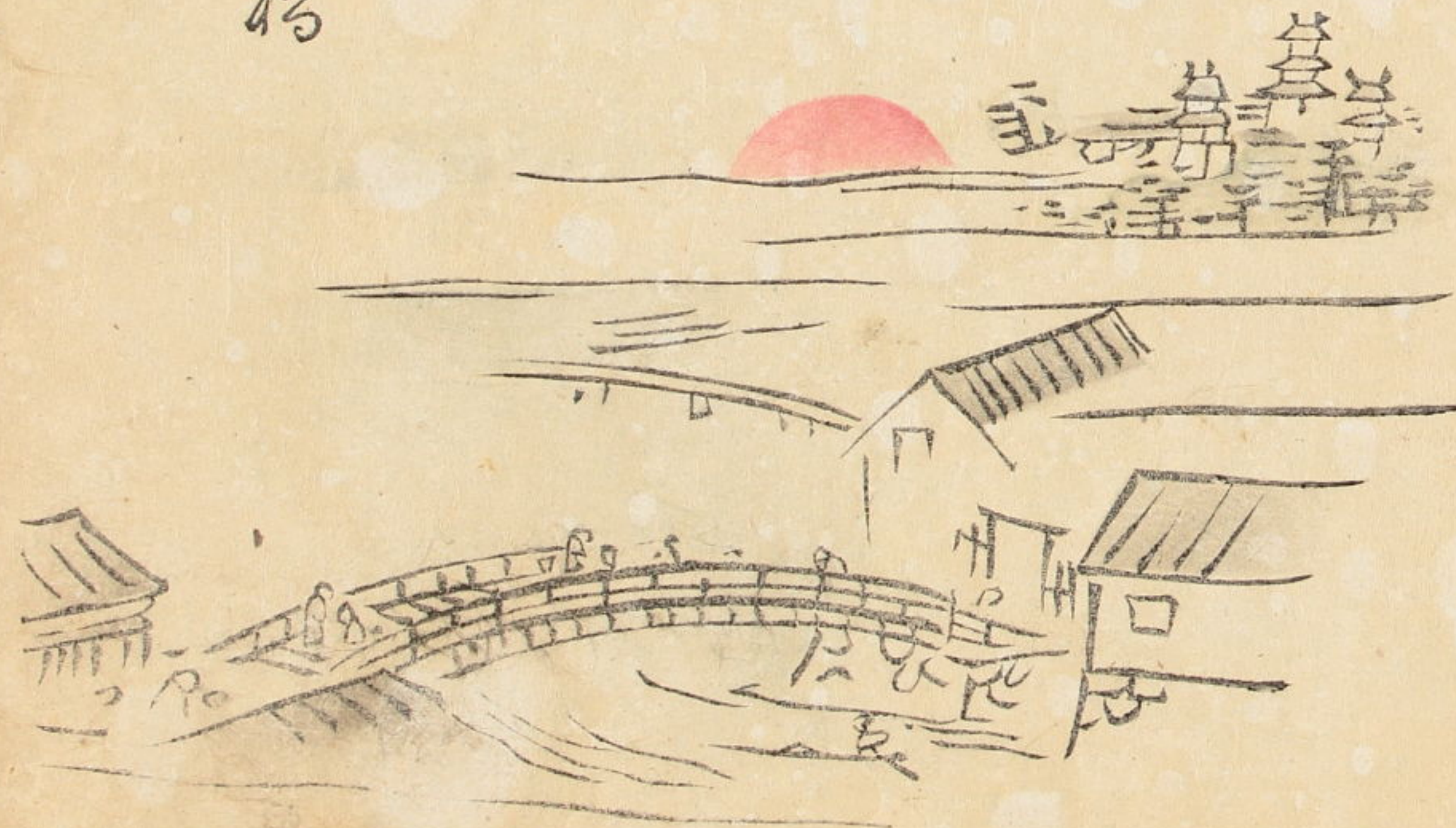
のま

喜をさ 流りの伊豆

とてたまはれ

可なりも案

とらふ 橋



蒼天
野佐太三郎

えんねの梅を

所供や白きま

せむ

昔のまゝうて

えんねの梅を

伯春



歳旦

立喜喜とあれをまゝり
倒しうもまけ

そ水とまをこころの物外

歳旦

観音のまをこころ

行ふ船を

社を影ま

清初や船の中

松のれ

一麗舎

女婿



春風

歌小條時頼

梅吹雪

多し君

と

梅香

三至



歳旦 錦三神

初日より梅の匂い

うま

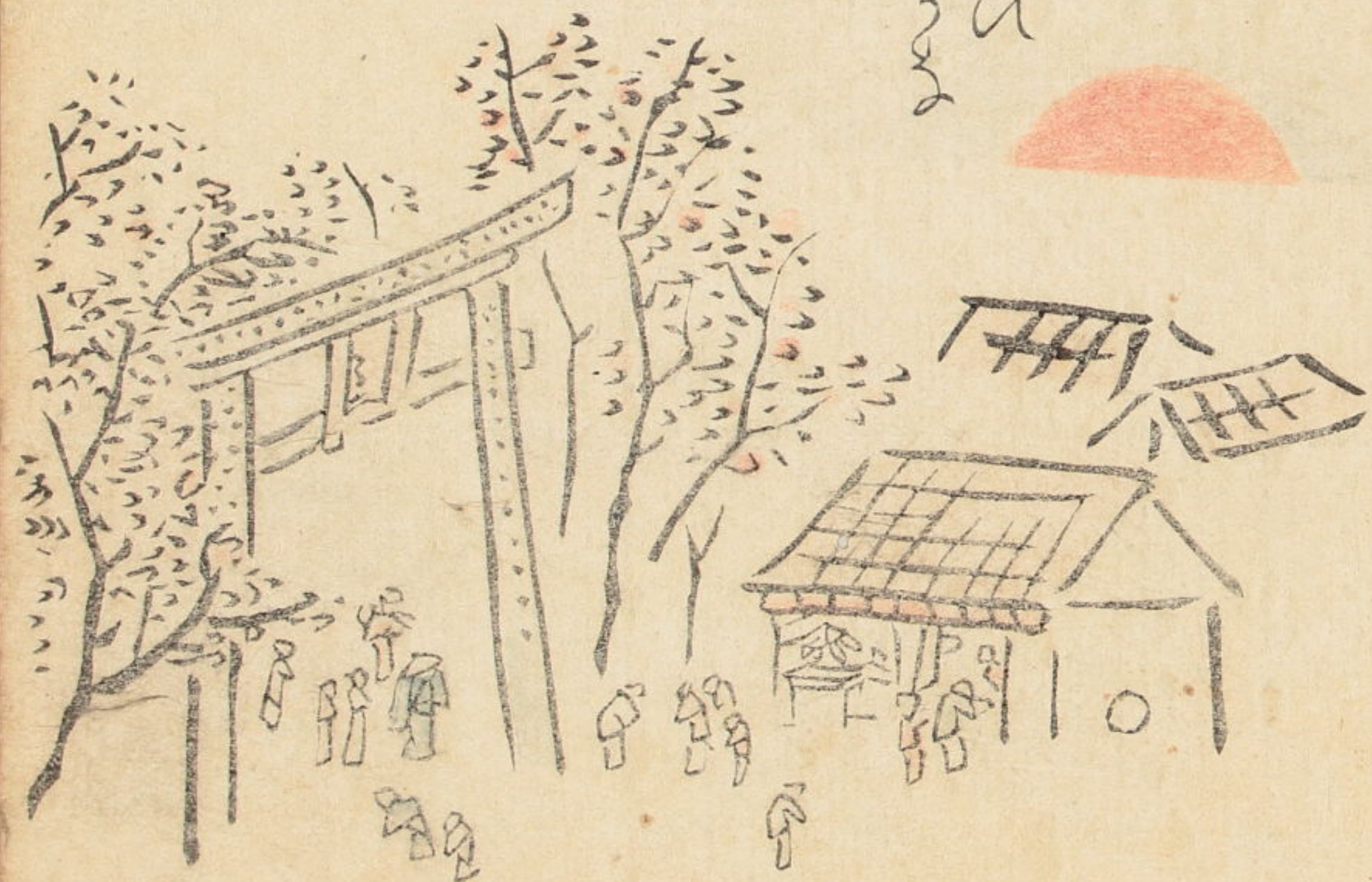
喜興

梅柳は服の

ふと乃

あそび

霞葦



少海さう

つれ乃歌を

探して

常と
山田くあ

初音

うま

泉

雨柳



歳止

野老招展

新歳やるるころ

老女の

さうさ

喜真

お揃い喜の

年々よ初音

文鳳



覆新

元旦類 祥惠 冥神 戸迦 羅 菴
家内 安令 消 聖 限
尚 祝 廻 重 屠 蕪 酒
若 紙 福 海 壽 山 喜

三 新 心

愚 心 智 無 知 者 也

人 心 全

歳旦

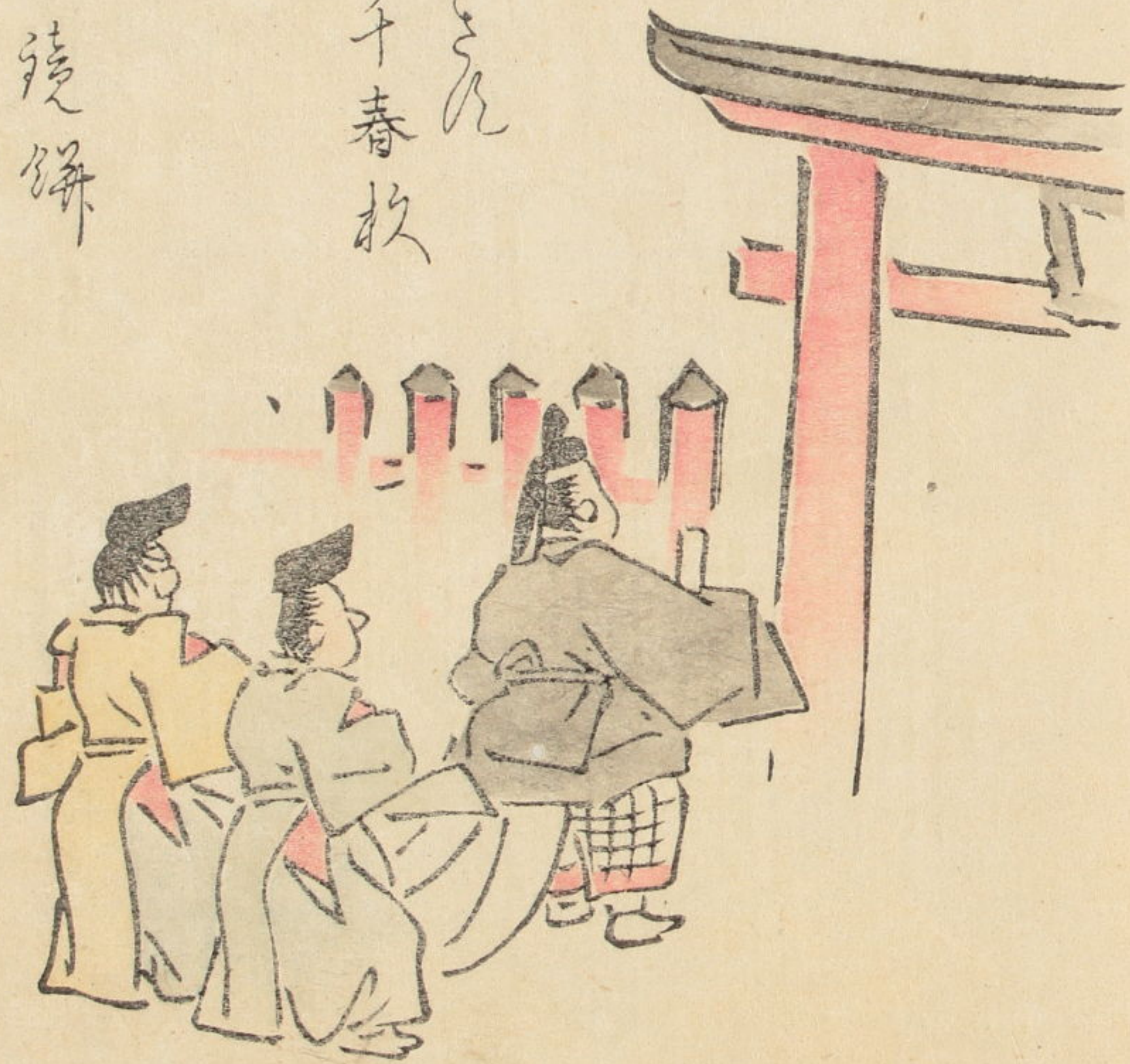
歌 春 日 若 宮 八 幡

若 水 也 乃 加 冬 氏
千 春 枚

せ 以 何

若 目 守 之 鏡 餅

獅 弦



新と 歌東方朔

福喜軒 抱ふ

九千乃

花の足

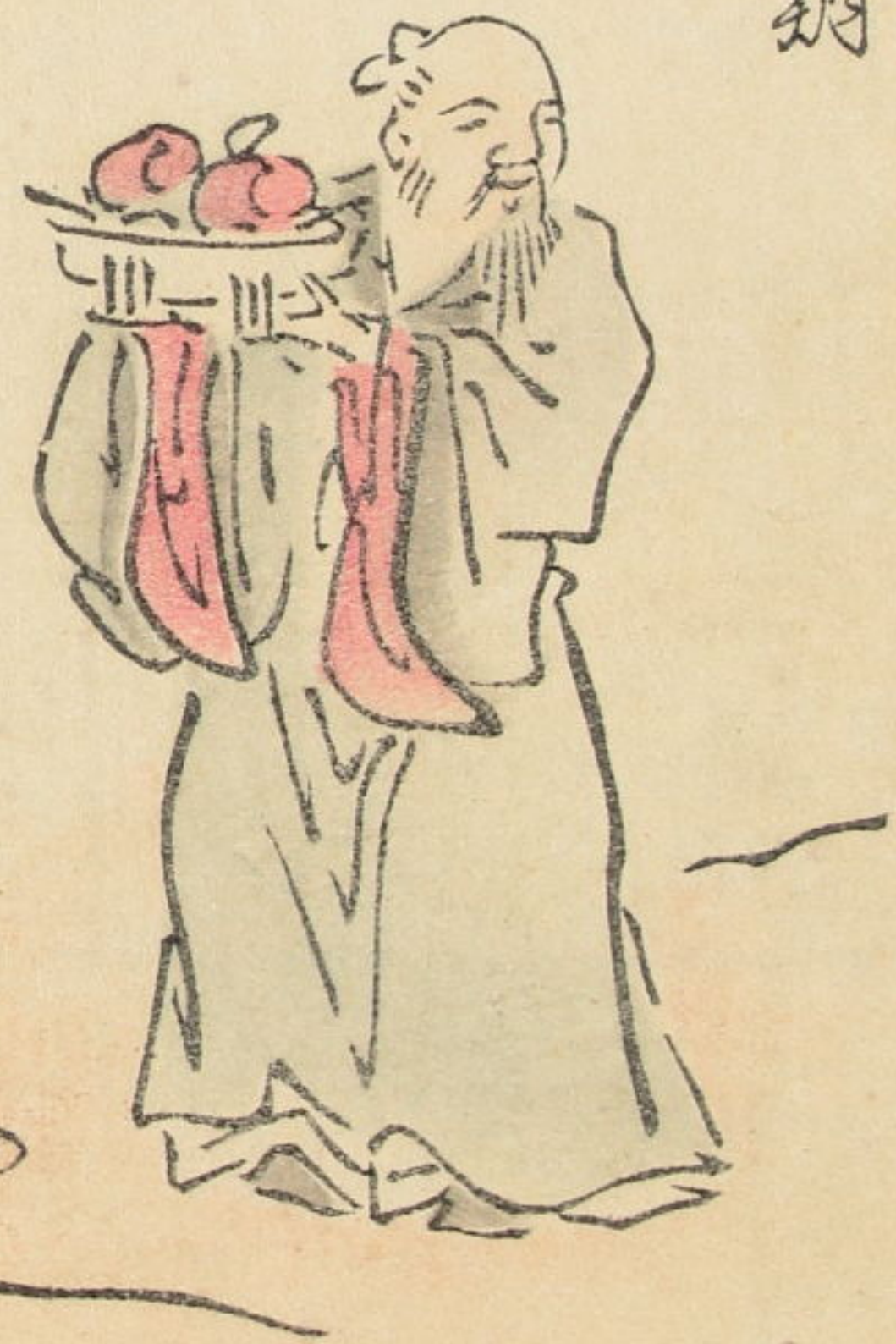
せむ

志づ けさゆ 葉巻

かきうてう

守夜

知友



歳旦

歌 伝書

大海舟

子成

神々々

初日を抱く

和田の

せむ

浪のよき

千尋の

えんき



歳旦

歌 大黒天

初め

喜もおちの
玉のま

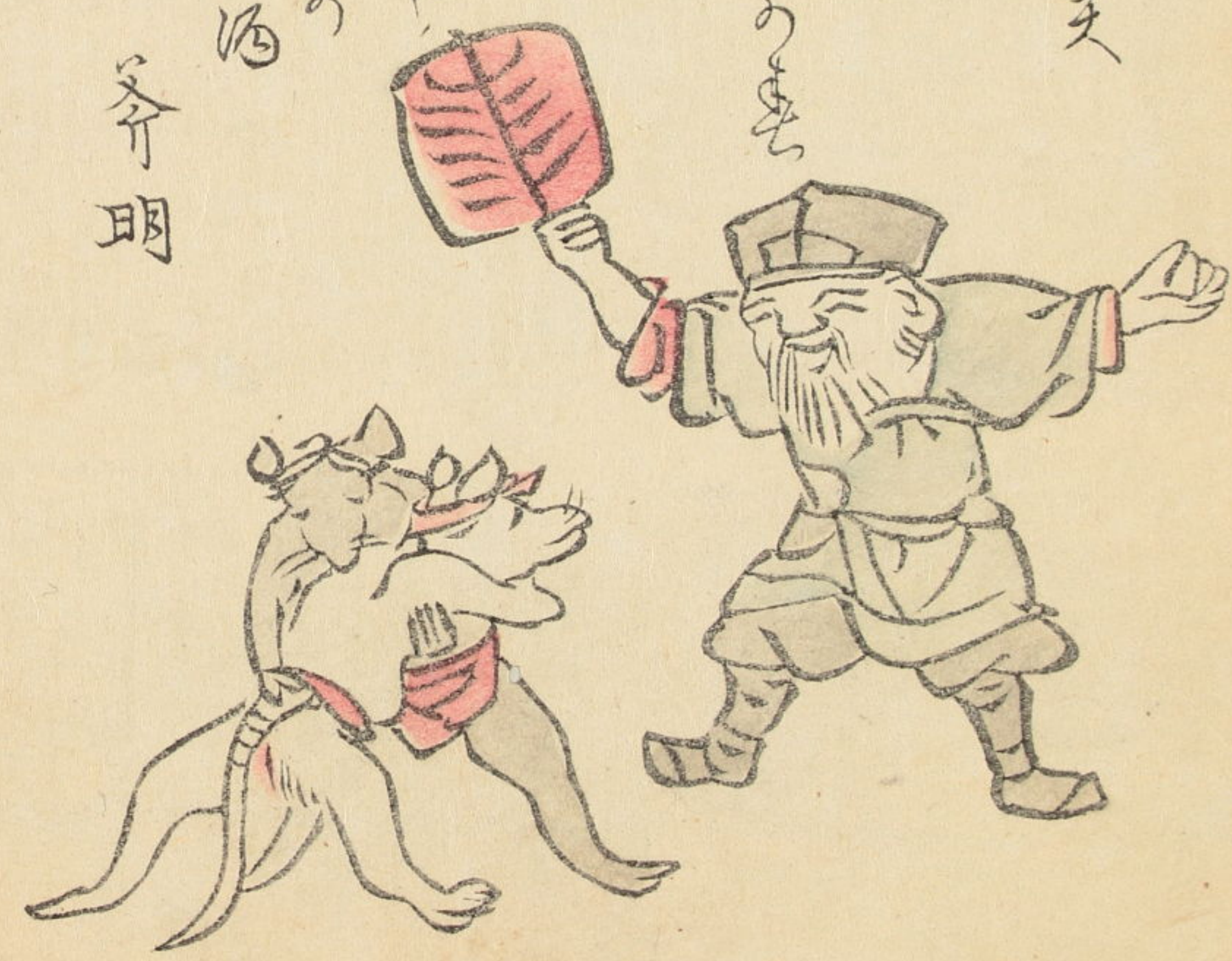
せむ

よの市の

〜〜おや

除夜の
酒

芥明



歳旦

歌 浪元の歌

縁交と神

柳枝

ちつり〜
浪をよかけろ

邪のま

喜無

冬の日に梅も

さくら〜も

葛牡丹



喜無

影生白明神

月夜橋
昔人歌

来るる乃

項又咲く

四林の記



凱 渡唐天神

高國の梅を

古き聲の御意
跡く

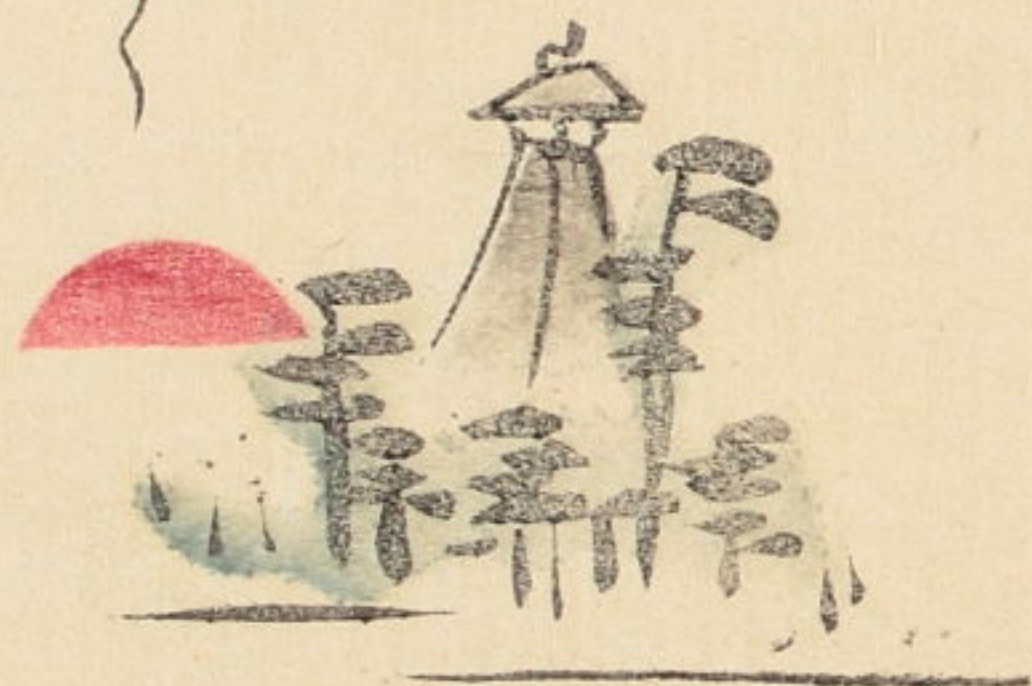
歌 伝言年意比須

歌 松子林の

あや極綱

在難亭

よう 楠



喜興

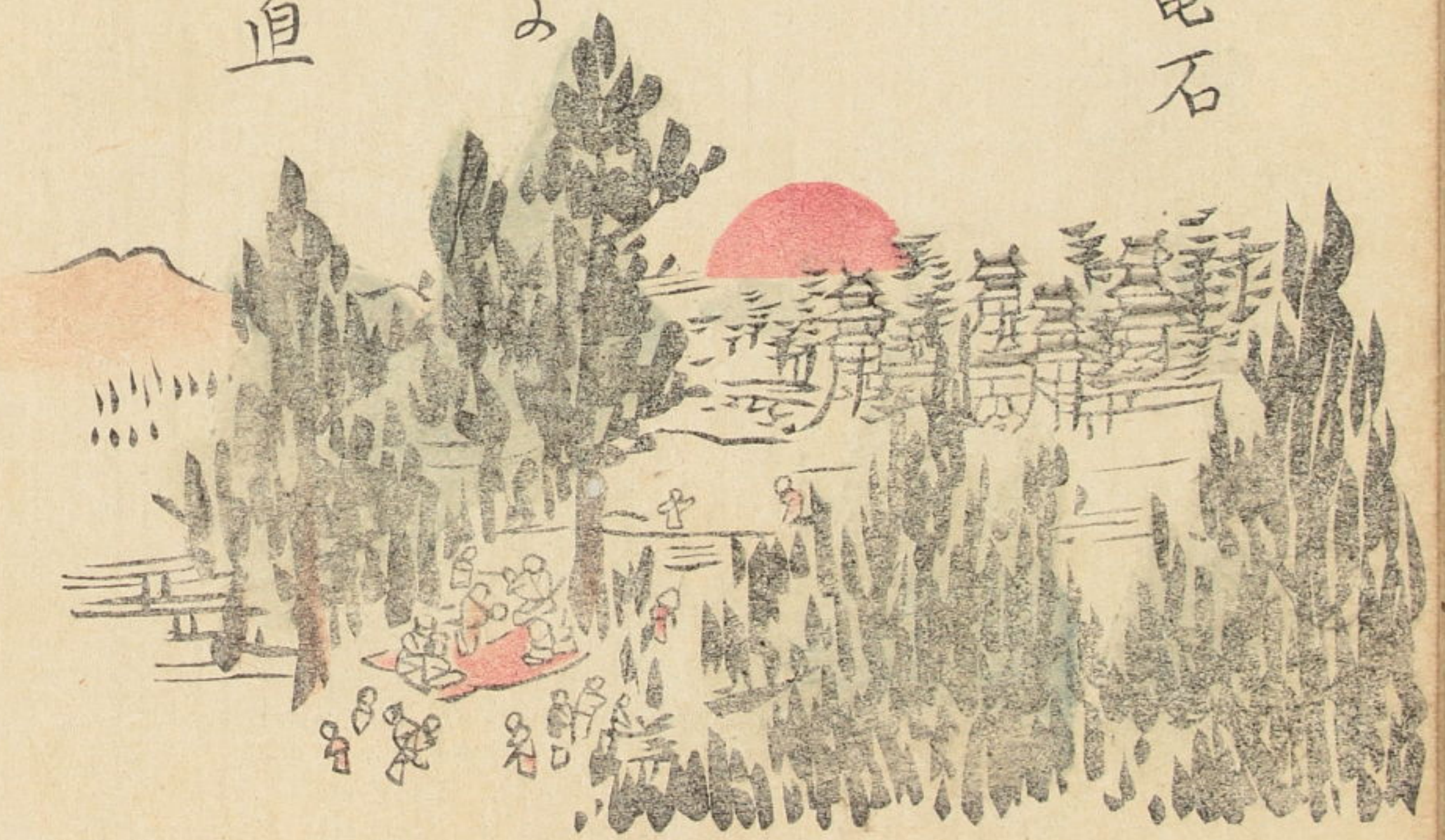
松嶋の松さう
〜と鹿さう

亀石

小槌さう

お〜れさう
蛙さう

只直



歳旦

影武内宿禰

升雄

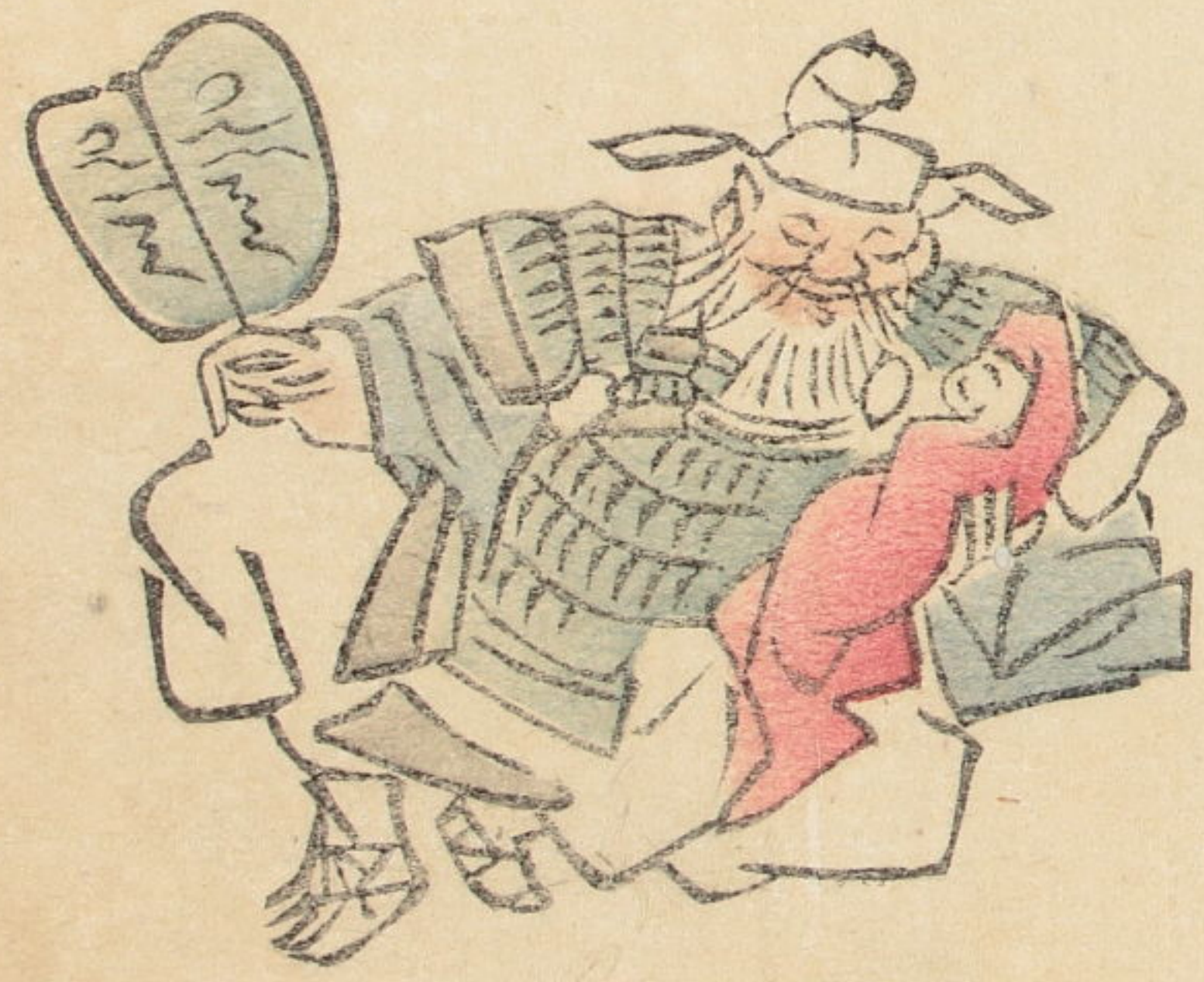
えりや三百歳の

余多丸の事

せむ

静〜流〜

石清水



歳始

伊弉諾伊弉册

薰十

あまのつとめ

あまのつとめ

年

松丸を解く

あまのつとめ

年



三船

神農

蓬菜や

味のうま

福寿糖

奥州



賀古稀

生涯又暇集を用ひて
又十五之餘年今迄なり
誠瘡をとおひて
細書備半眼鏡を用ひて
奥歯不足なく歯と喰物を好むこと
行ふも意行しむことも杖や鏡を用ひて
盛衰たるとも憂ふこと行ふこと

古稀徳戯り行ふこと

古稀 たる
古稀 松や 千代の喜

養老所
林鹿歌

歳旦 歌 呉服社

四年吾所の定まり
けしきえのねよきやうて
そとを佩ふ

歳を祝ひ
くれまの神のま

歳を 歌 今 山

〜 花乃
難のれ

凌光舎



少婦

鼠友

雛衣や

梅子

色とり

品の
市



喜典
羽捕正成

根をふら

叶又そと

喜の
吹

文都

自画



初と
歌位者大歳神

初と
福家の
川を記
しと

七転

入船のよしや秋をえ
歳をえ

佳石



歳と
歌位者宮

ぬうは多と初日
ころとや 林の色

せむ

蝶と
朋お多や
漸反

喜興

名却せと浪たの喜を
梅の色

梅の巻
其昌



芳時

歌是利言氏ら

一筋う二つをくらとらめ
胡麻

甘ん

鬼のめくハ菊のやまらん

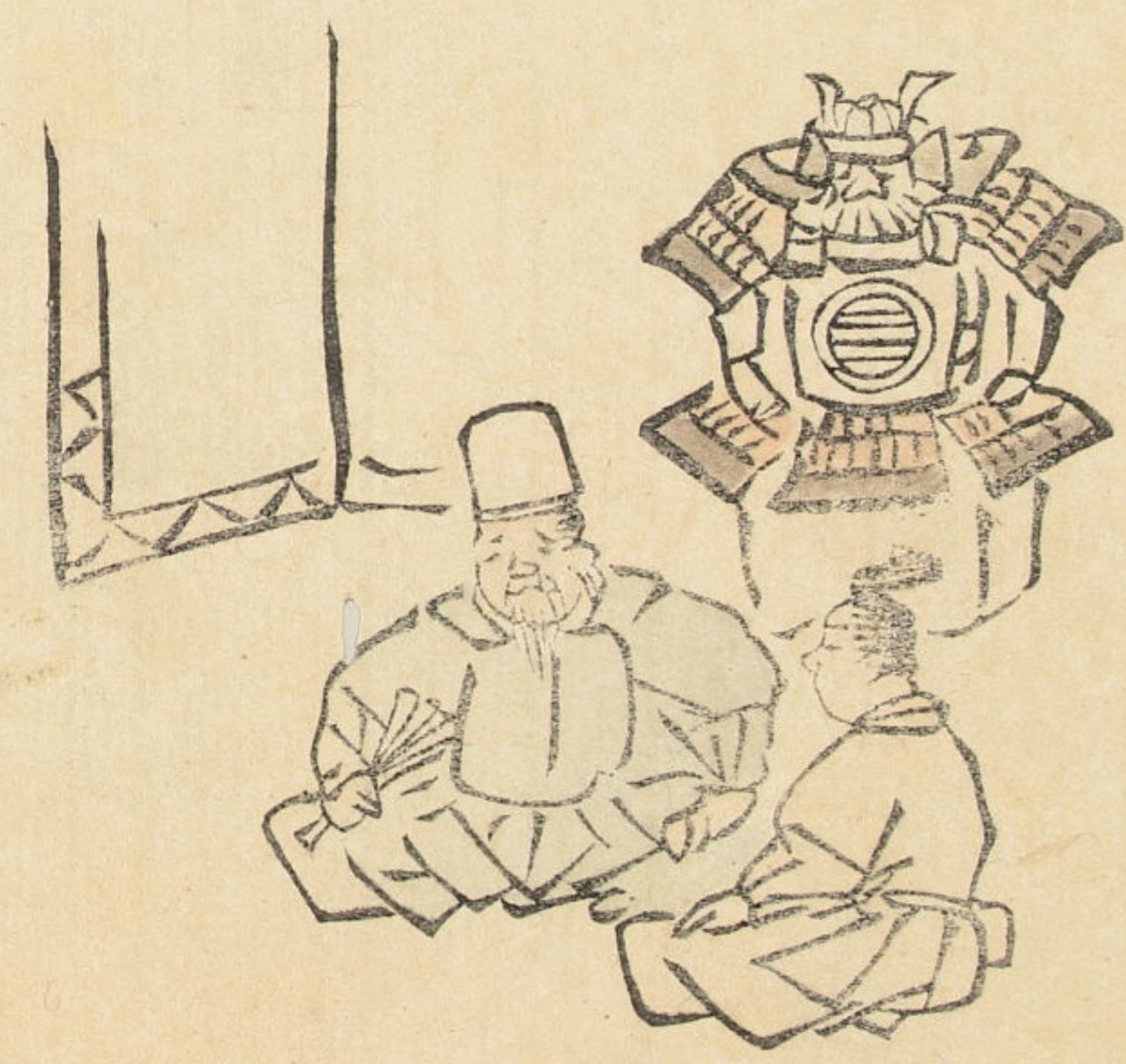
く〜の節

喜無

浦の帆ろを流のらとを

走るら

楚尺



和景

歌志雲大社

文勢

八平らとら

色はよ

かきん

花の
そ



殿上
歌伊勢内之

南橋

らるるるるるる

きりりりりりり

せし日

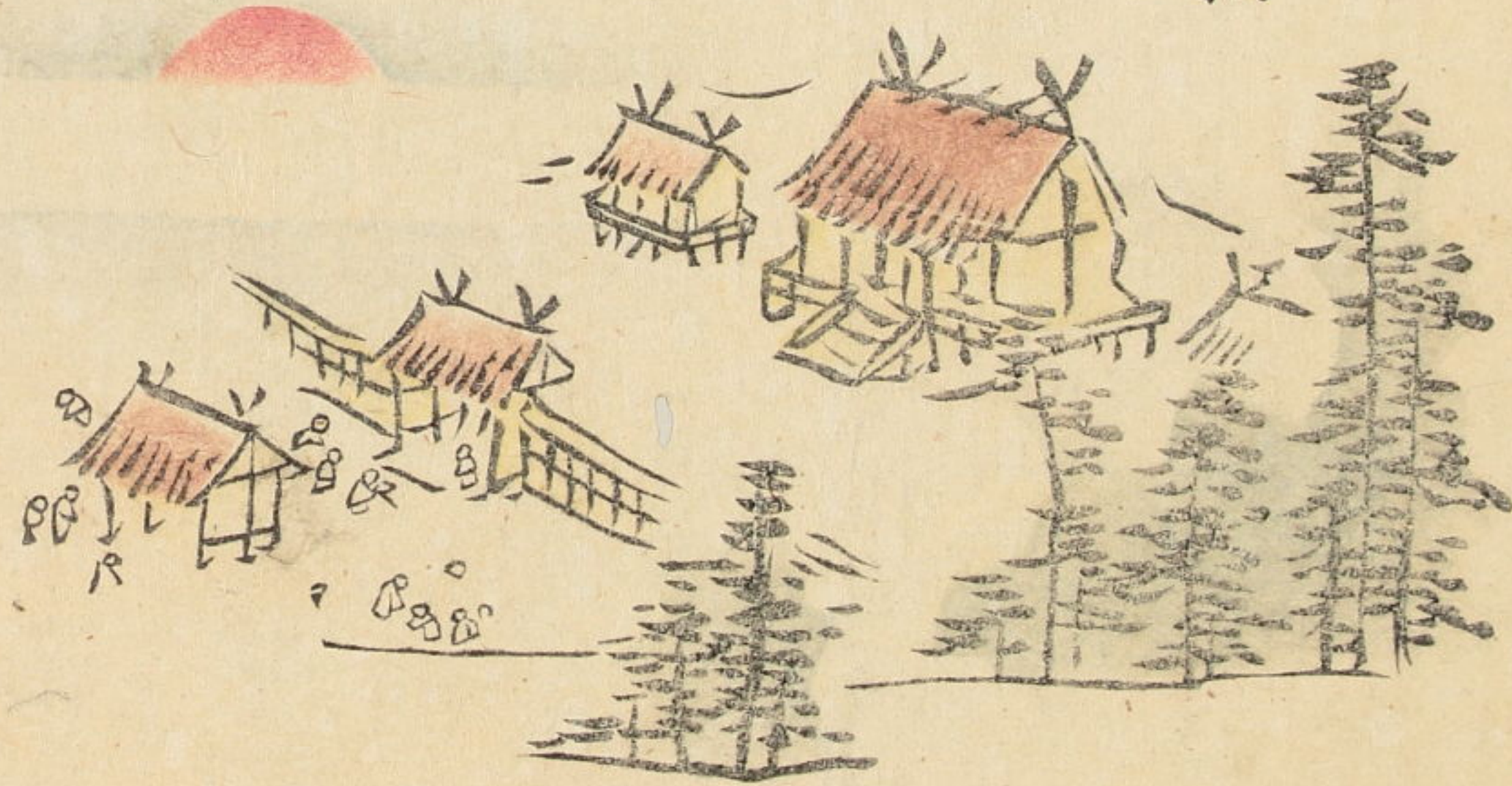
幾路くくくく

きりりりりりり

きりり

梅咲やきりりり

きりりりりりり



梅はさきさき梅はさき
人乃さきさきさきさき
思ひ梅さきさき梅乃
さきさきさきさきさき
さきさきさきさき

梅さきさき

けりりりりりり

あきさき

錦苞舎
慈樂



喜興

二三寸

伸七

喜の雨

江丸



歳旦

野乃森神社

春日樓

中丸

初日乾

ゆ〜結色乃

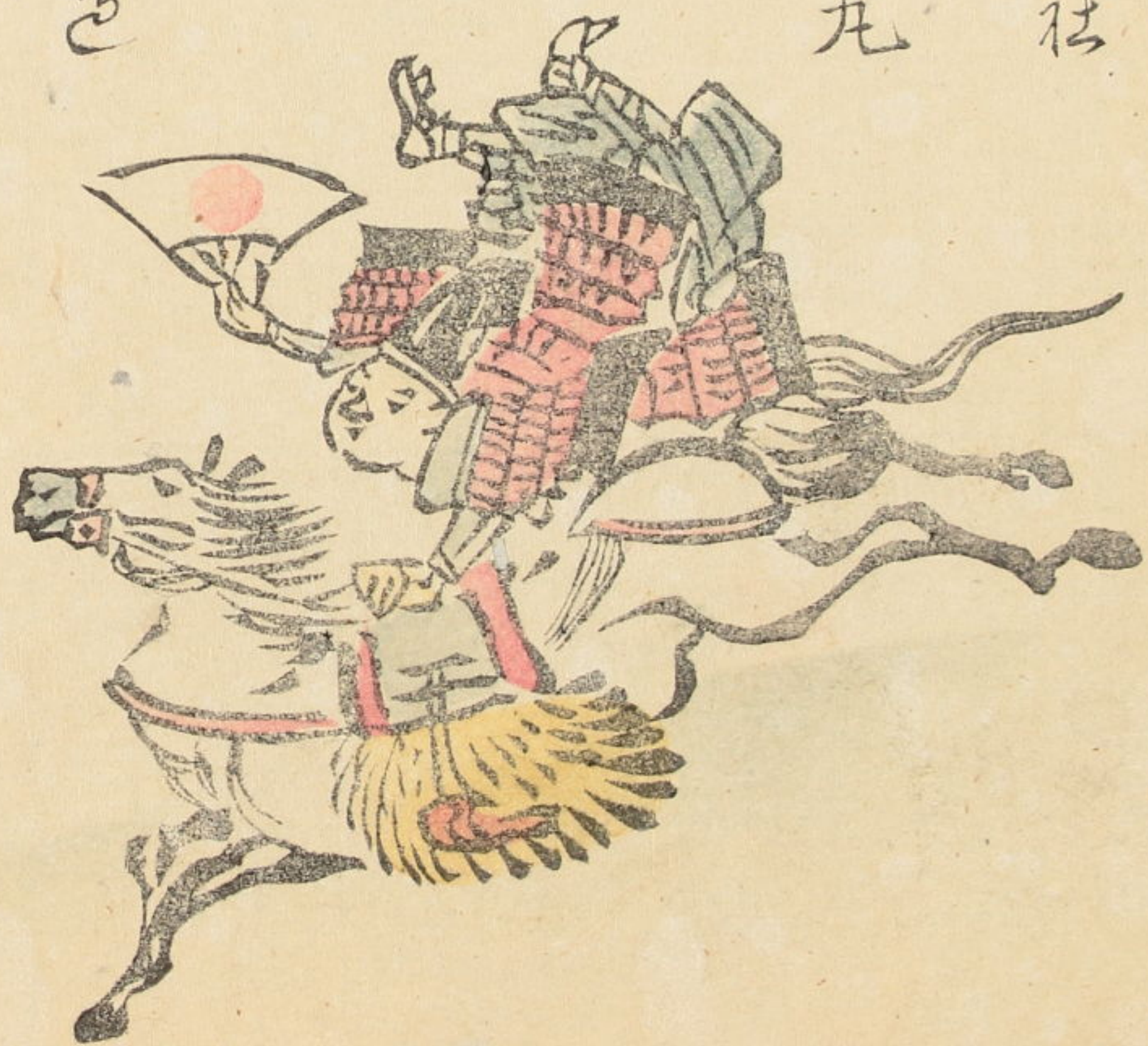
官極

喜興

首之於む人々

喜乃

喜乃



喜縁

桶輪ゆひの

帰る路なる

籠子の

喜

方水



喜興

喜乃日の

二里と

一里と

是り

田家菴



歌 春の由

崑下郡奈良村

うねり

無軌

うねりうねりうねり

夏聖因

春日社内

徴吉堂

夏浪や

草花

たつよみ

千鳥足

歳止

歌 歳止

雨柳

みづうみ

みづうみの中

みづうみの

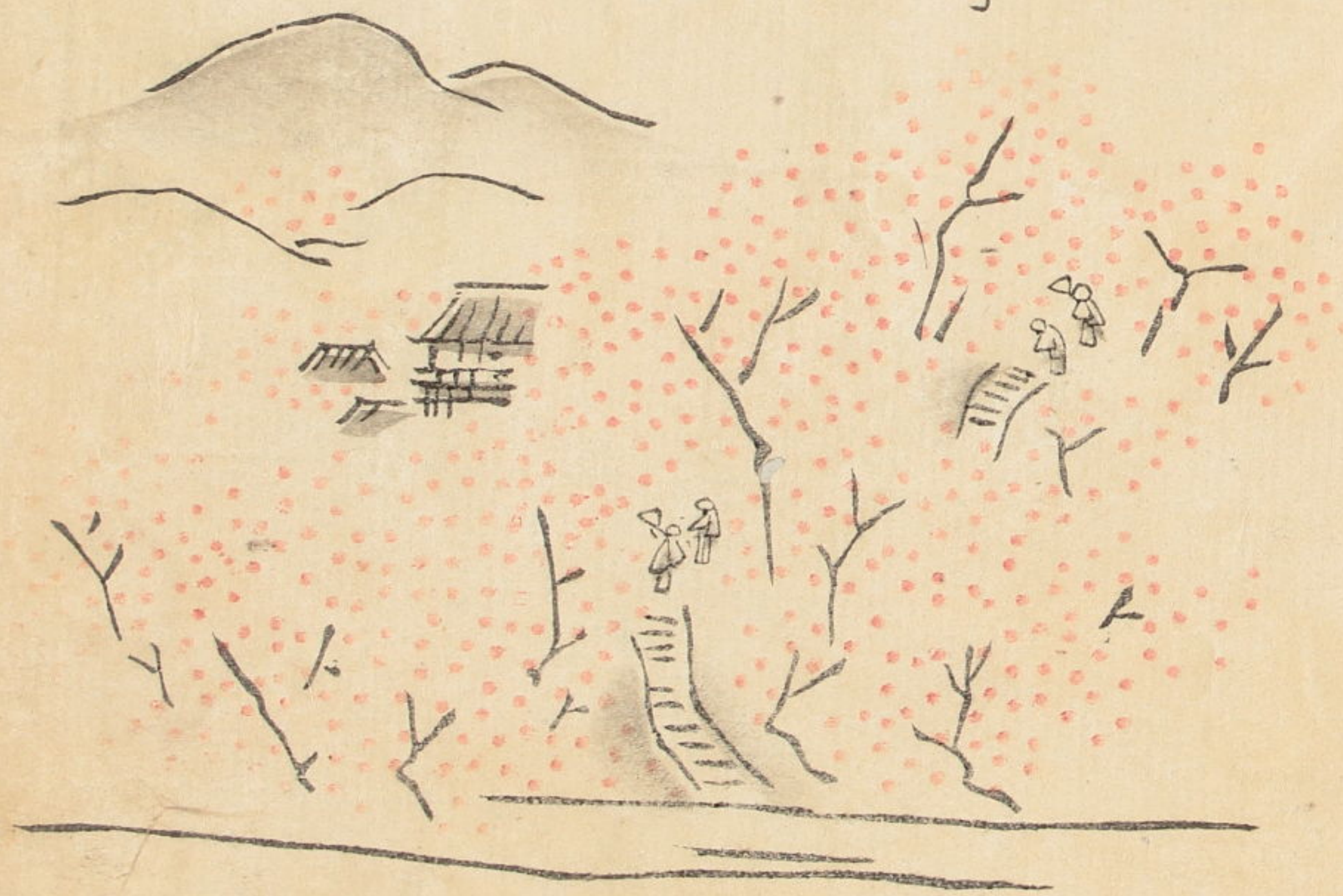
歳止

歌 歳止

歳止

歳止

歌 歳止



歳始

三つ巻新年よ
あれを

白梅
は我

賞の

〜の初もの

初と

事

三浦大捕

百たつらつとるて

〜あ



歳旦

野原徳社

えのやねと百巻

初〜ら

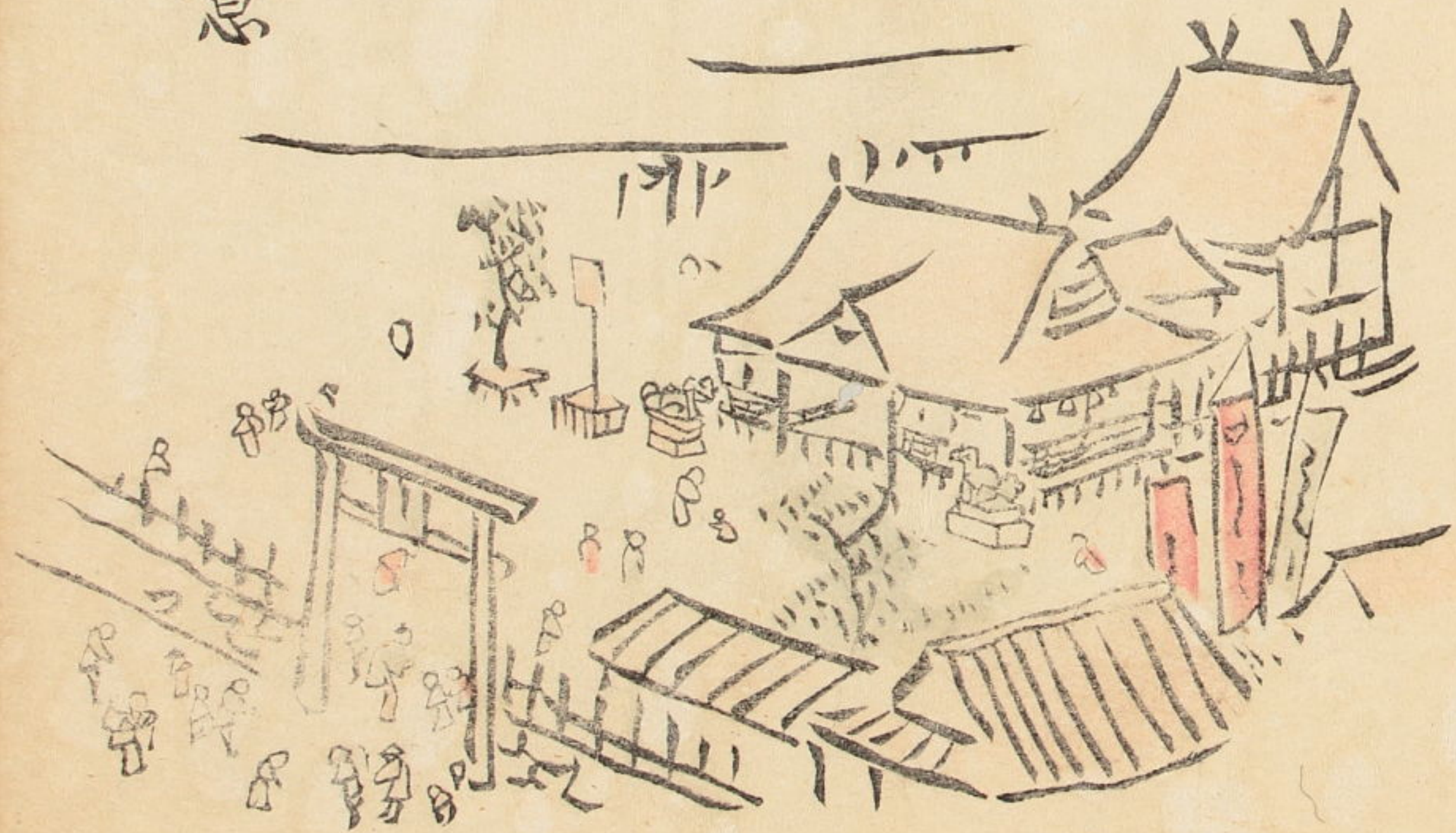
事

鈴〜り

旭時あ〜

〜の〜

澄意



歳作

多水作

野別雷神

水子渡川

神の教

せむい

一日子拾

か
の

梅兮



良節

影妻老人

謝室

影妻老人

妻老の人室

喜興

喜興

喜興

喜興



青帝

影系福壽社

我答

初詣詣も

いのち此社

年々

影三浦八幡を

通す矢も

何の事も

除ねの的



歳首

物に雅波江又年を
是へ来む乃らとを
思ふ

雲及廣瀨

細野

右梅

ハキリと

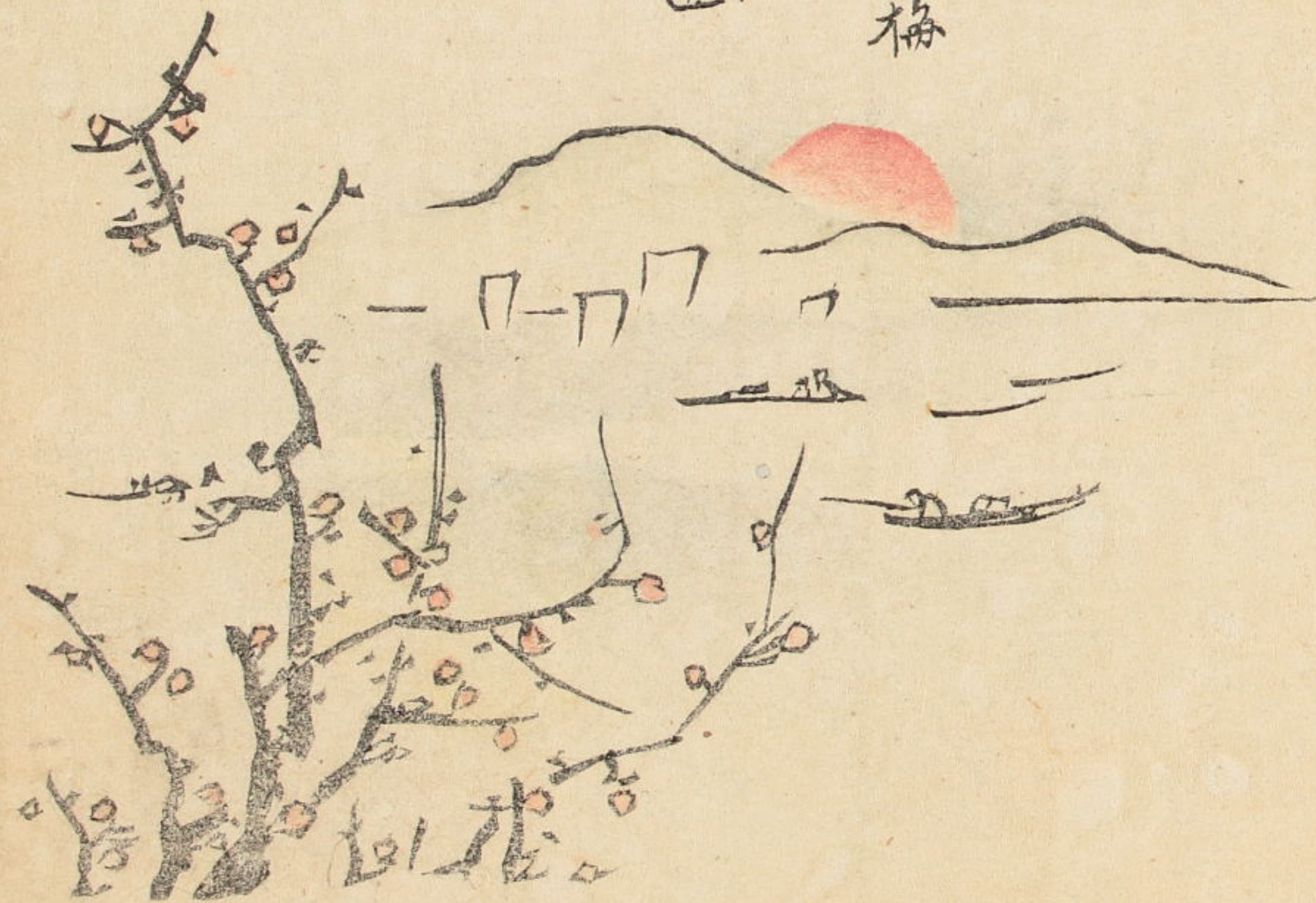
田みのく夏乃

初日の出

喜鳥

自らも一枚も

あせ梅の花



三婚

初婚

作新歳の

加のろ

勢

岡寛齋

朝三



歳旦

影音徳社

佐太

七十七老毛

蛸天老人

牛翁

谷音もろりて

賑ハ一神の喜

喜興

浴泉廬

鳥掌

起ろろる世乃喜解也

喜の地

歳と

影州義山

まき

暖
と
采

山
心
射
抜
の

神
速
打

佐太二番

枕流舎

里鯨



綵
夔

歌信田稻荷社

荷
ひ
と
り

稲
の

り
あ
や

丸
沼
車

縄

阿陽

大和里

化跡



嘉節

歌多由流仲る

佐木

源の 巴山

清

山

小能汲



歳始

歌系礼西神

後水 茶瀾

みきり

神もて

神もて

水

喜興

水

実くハ

新文と

白羽



歳旦

吉法眼 喜吟乃 不二也

初日乃出

落木

春笛

叩人 与 方 惠 彰 心

初意比 須

日

樂只

洗滌乃

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝ

うつことわ

あ乃

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



東君

喜陽乃

海長深之

神の

喜

源本

元齋



歳旦

一路菴の探野の甲子年八朔の
名を以て歳旦の野と云

浦も高もあのお晴や雨の喜

如月宮初年ならん
稲穂の秋をめで
内行

初年や軒の下も山一位

高槻

春水館

御道

歳旦

野原にあらうの西村

初めは田をまき
めらうの福喜あ苗

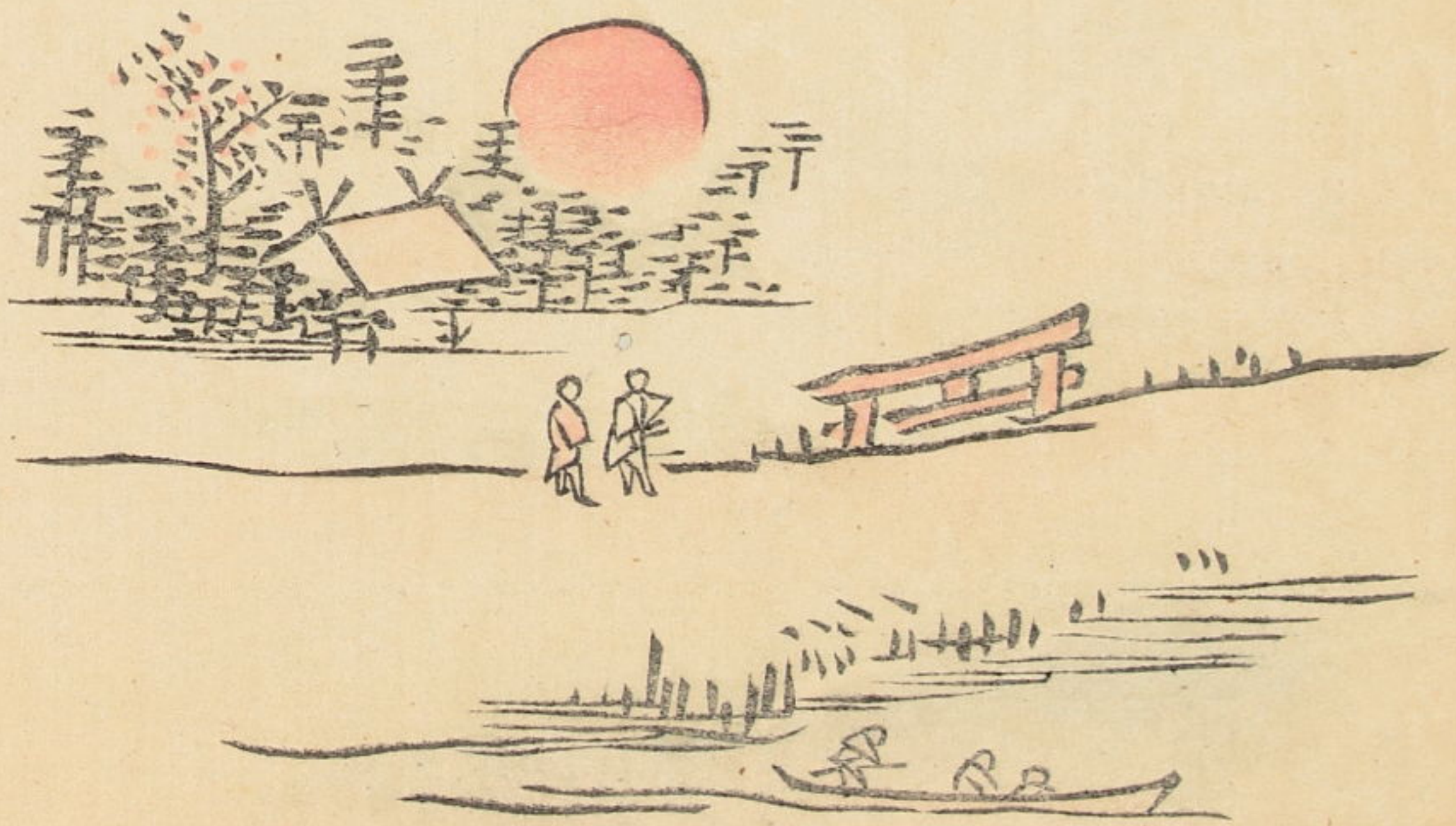
せんは

ふるまのあらうは

か〜けは〜と〜と

末廣師

鶴宇



喜興

大海

楓橋

多能乃

た〜ら〜と〜と

空流桂



春詠

春の光

あつらひ咲て

あつらひ

花の啼く

あつらひ

春の山

鶯鶯



韶景

影八幡を仰

往昔の

あつらひ

あつらひ

あつらひ

遠及日阪
圓之



蒼天

歌長明

陽光や

車乃

物乃

さく

水

遠乃日阪

挑六



鹿景

歌園好

遠乃日阪
未考

冥を

千里の弱や

まきの

地



勾芒

孔明

遠呂坂

牛久

梅うらふ

うらふ

共電うらふ



良節

龍陣平

遠州日坂

吐鳳

漕舟

船よ

余の

うらふ



福和

野櫻子

遠及日坂

桃江

君う代乃

三尾も

松の

三束ゆら菊



歳旦

野漢多祖

能五うら

上り

三々々

初日の出

遠及日坂

鬼卵



履新

路孟宗

孝也

三五言
茶筵

孟宗

竹

初

子



玉喜

新
歳

神

松

浦の松

駿府

錦羅



淑氣

駿府

初年石

まきとら白雲

日と近

くさく

のろ

松



大皞

駿府

少年

技榮

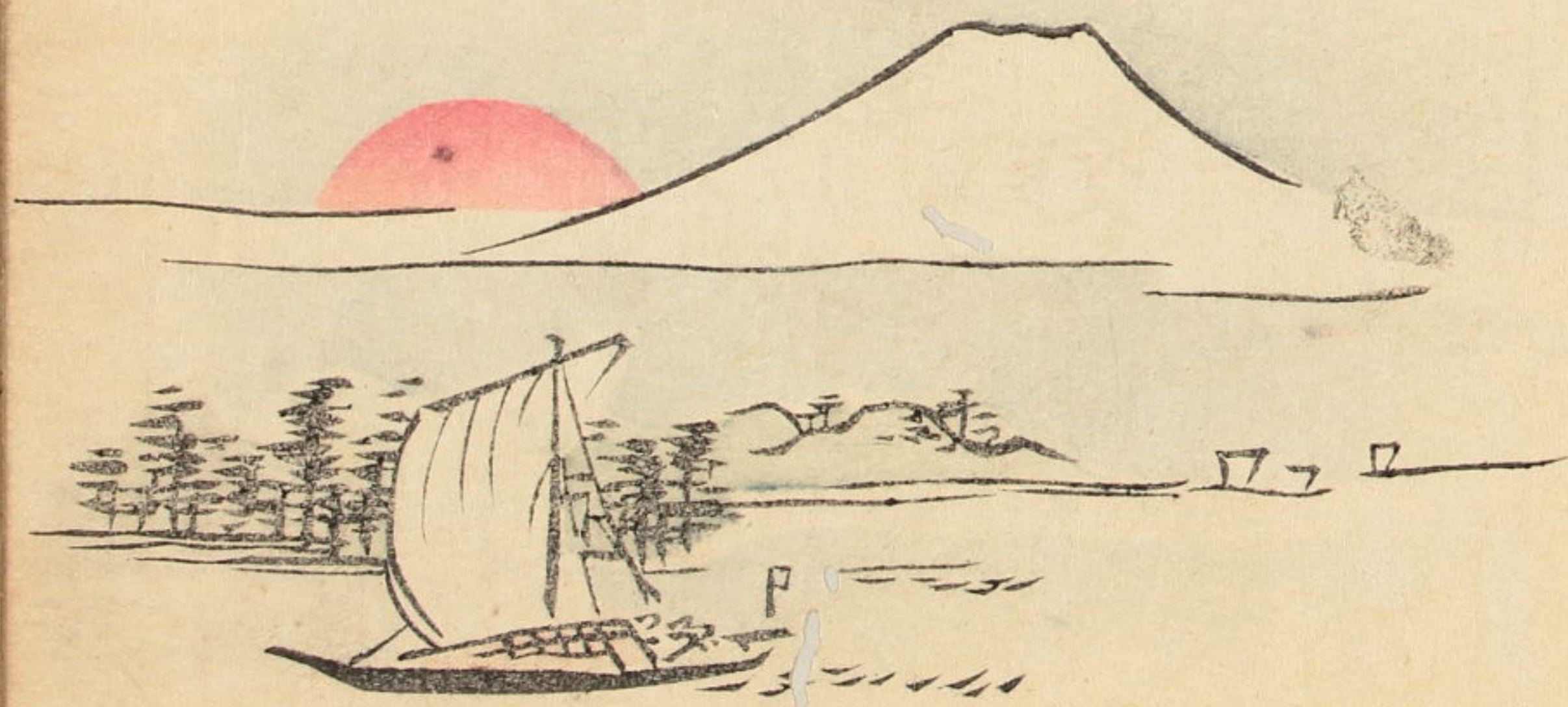
まきとら

まきとら

あきと

あきと

あきと



多見蓋

強府

掬斗

歳礼

いと高きこと日あ

はくえん

せしめ

降あふ

降あふ

降あふ



青陽

影彭祖

唐の徳

七百歳と

福

け



之州吉田

兔堂

拾翠

歌源義経

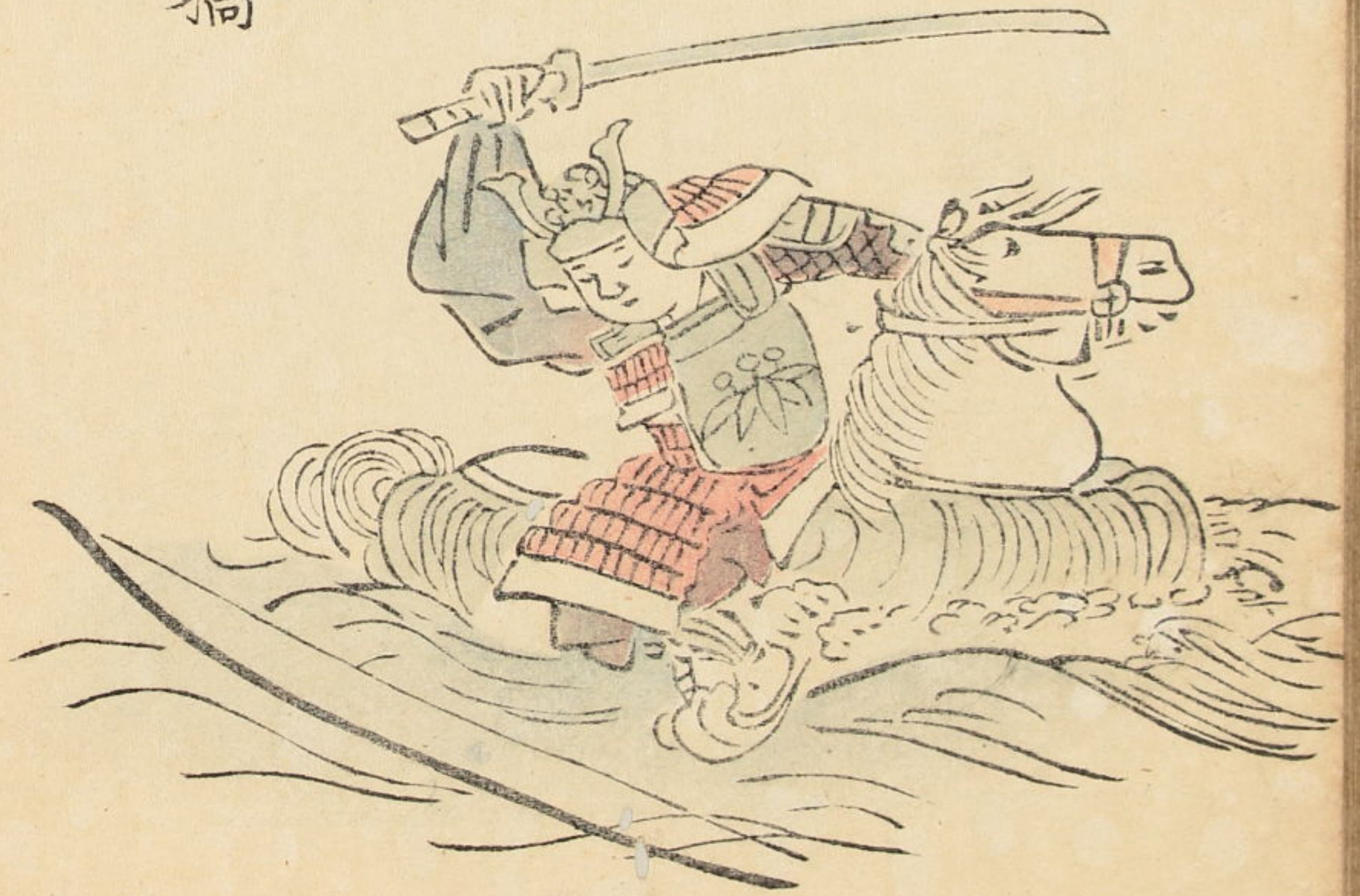
弓張り

龍七
郷子

流

三州吉田

素橋



歳旦

雲及廣瀬

妻雲

吸風

野田村磨

土も亦も

善く田村丸

辛尾

嬰膚も

無

守秋

喜興

善の

名も



歳旦

雲州廣瀨
臨光舎

桃睡

初来物をきき

門の松の影

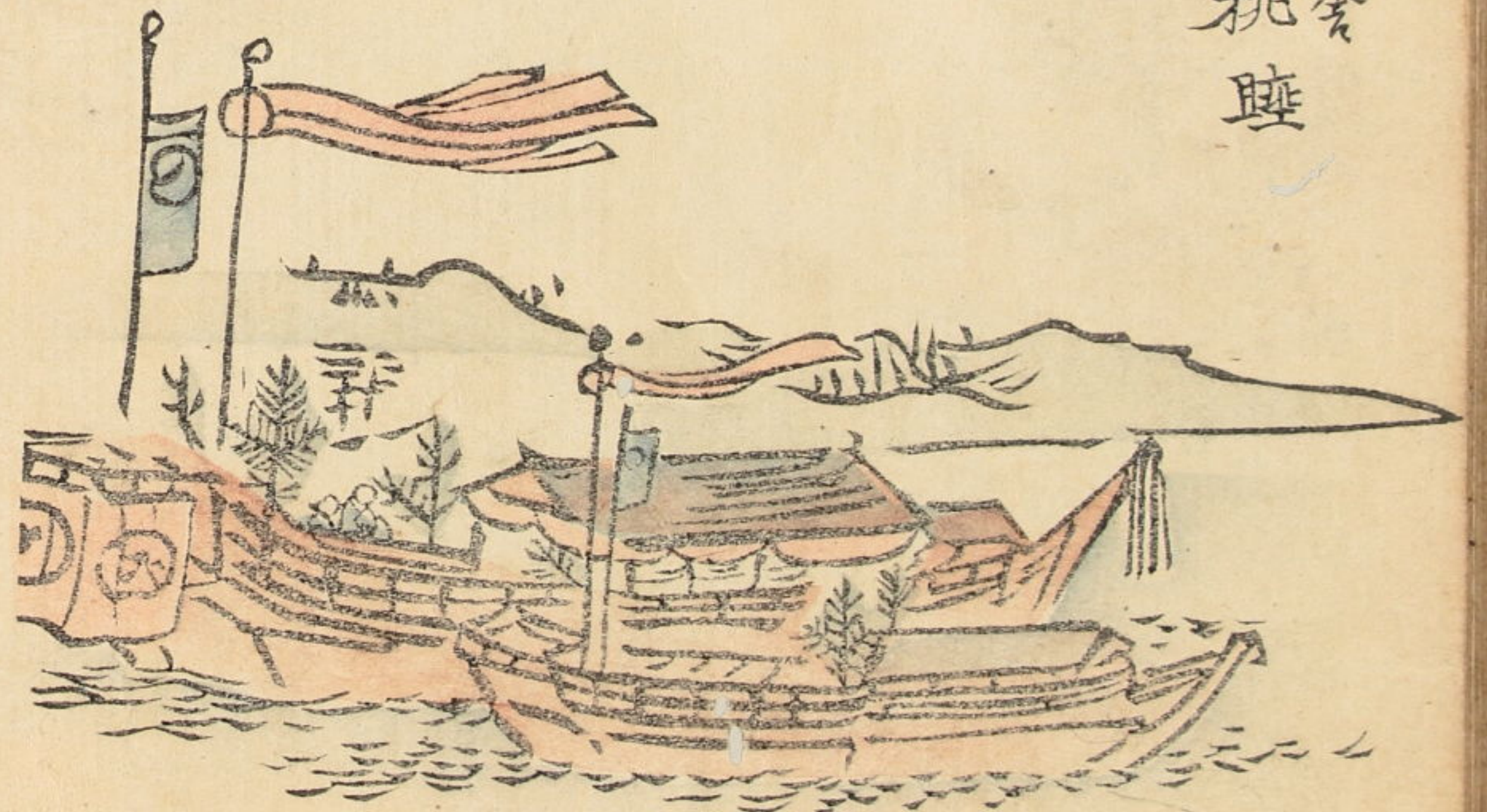
歳暮

花とらふ喜のあれとそ
〜支度

喜興

山娘乃曆之せしむる

を解か



喜興

歌杵換

ち栄と

ハをくすくす

暖のそそ



雲州廣瀨

成風亭
一

歳始

野石二指現

草の芽也

~~~~~

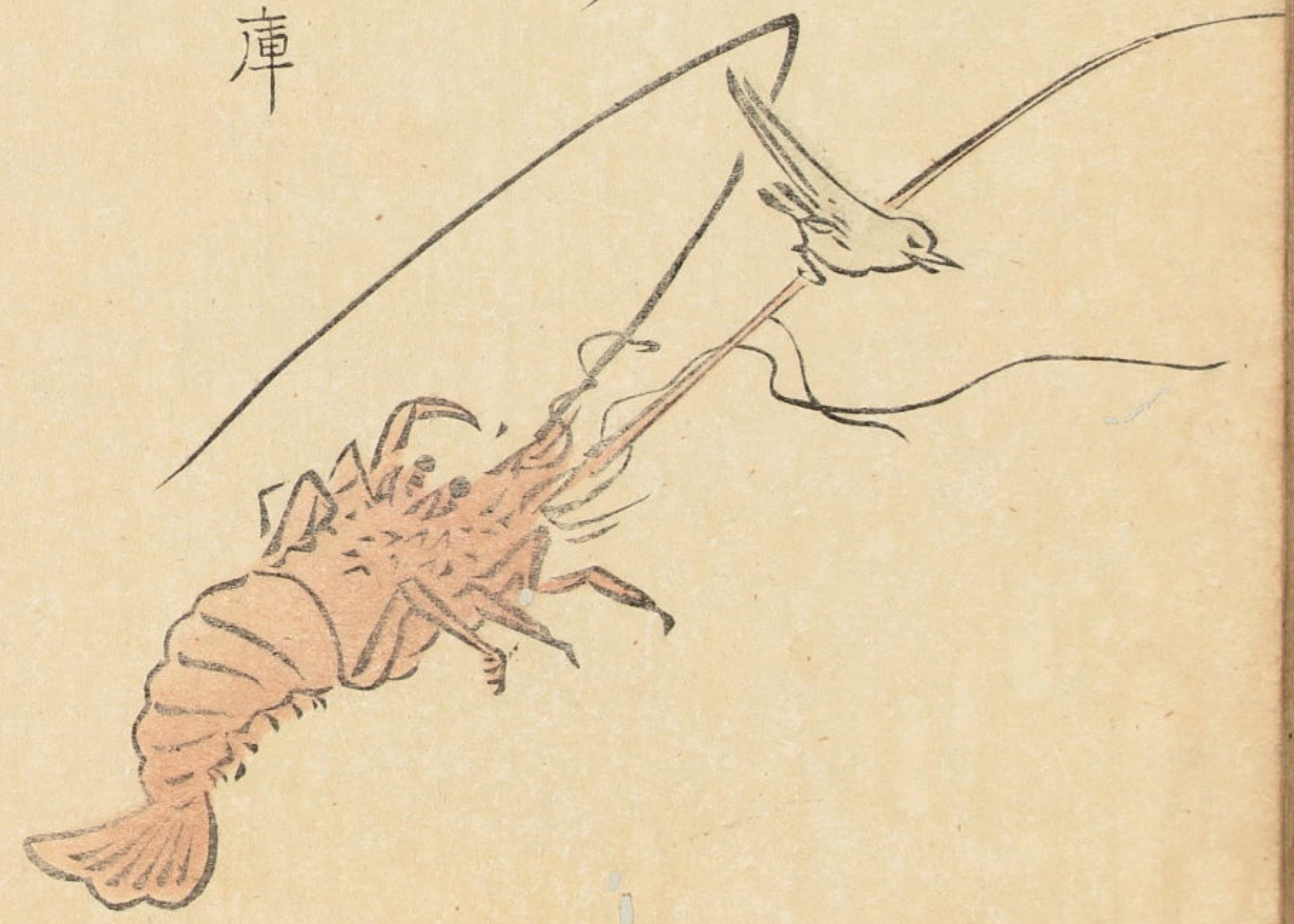
名二乃

神~~~~

雲乃廣瀬

葦竹亭

連庫



歳止

あ~~~~

初日

血代の

目海浪

喜思

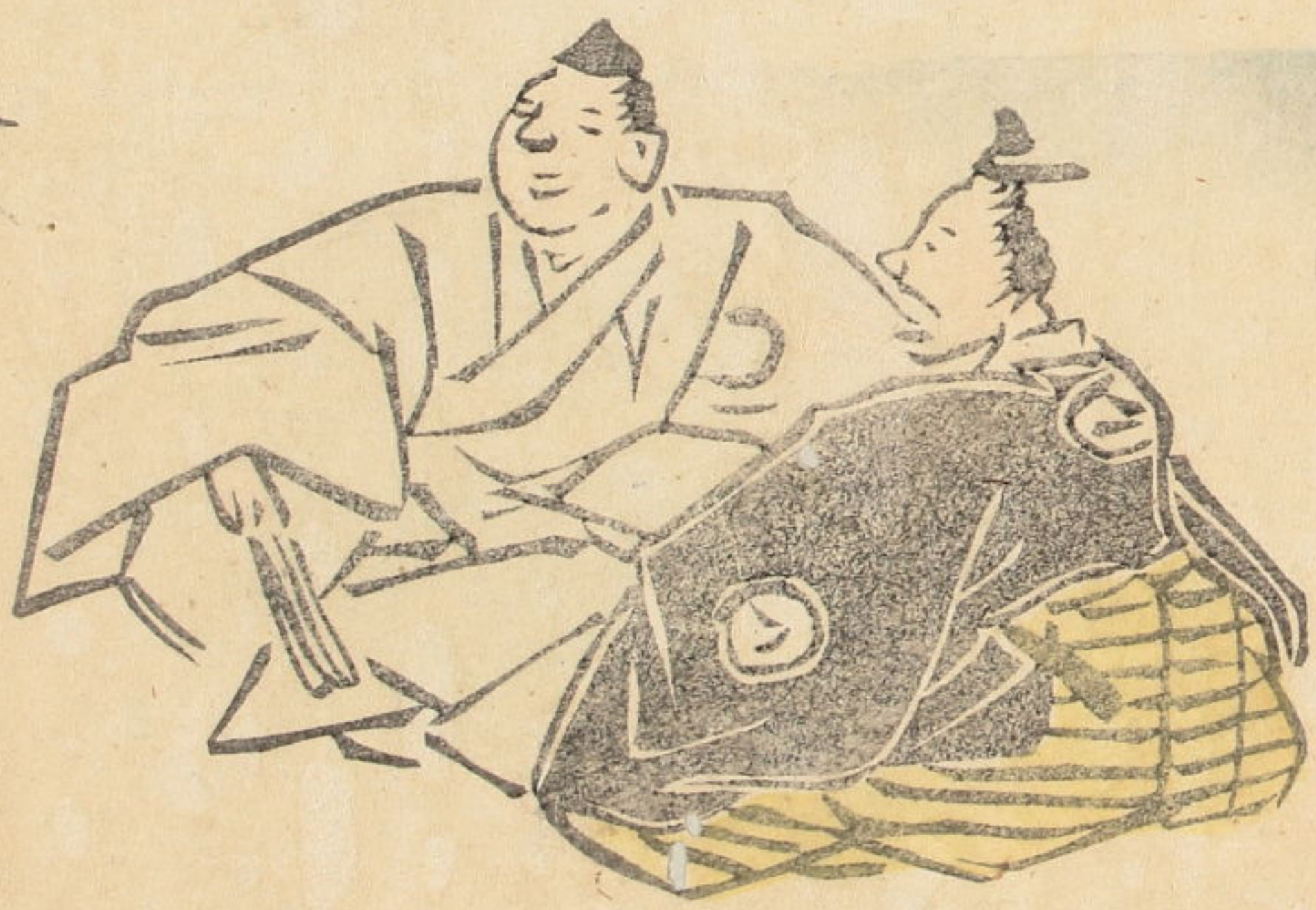
去来きたた 七多能

淵も静く

雲乃廣瀬

観山梅

士文



歳始

いよ祝をいよ  
あつて

唐の穂汲て

喜の定る  
いよ南

喜興

新奥の塩竈社

ささげの塩

いよ  
いよ

雲乃廣瀬

一湖亭

五景



雲乃喜

雲乃廣瀬

執中菴

山ははれあ初冬

の  
篇序歌

年梢

いよけを思ふ  
いよけ

喜興  
新奥の山

いよけを思ふ  
いよけ

歳之

門の

幕目

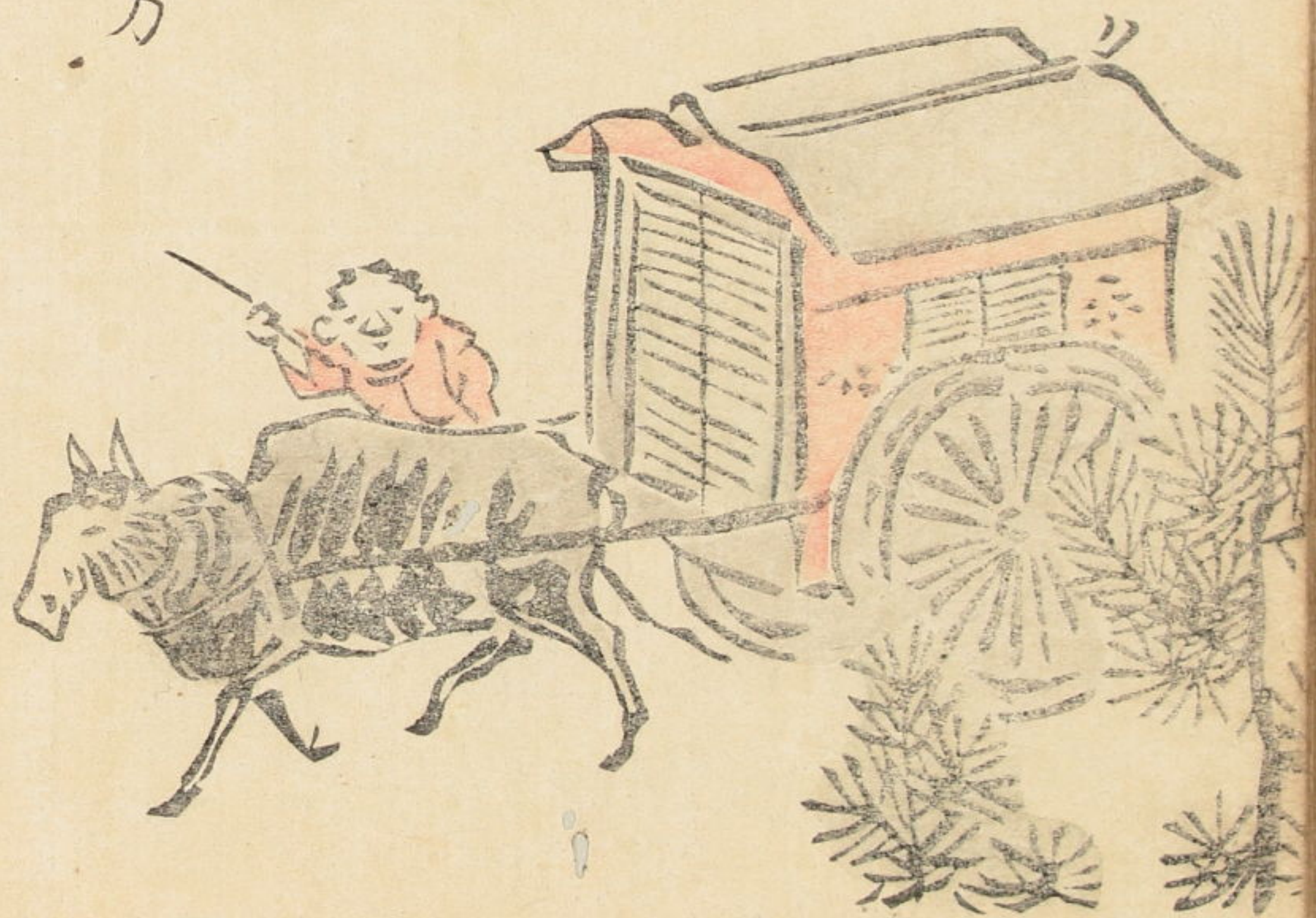
西

りよの

春

遠及中泉

子方



歳且

野新由仙人

世乃濁り去るくまの波白く

西及中

波静

野和及飛鳥所

日乘島

可遊

飛鳥山神垣法を和日る南

野伊勢方守武

日所

和合

守武乃向も面を和神の春

野有るる懐

昔國也春も春の春の春

日

西百轉

歳旦

歌白樂矣

山も帯ももぬ枝葉の初花 阿久ムヤ 有勢

歌水糸時改

初爰よそ〜木の芽の三三 日大代 月波

歌昔あつ字仇八樓

先づ初日神の鏡り合せり 日軒家 梅思

歌遠辰を垂郷

破魔弓の世絶たれ世に君ら 日堂浦 潜龍

歳旦

歌磯伎白鳥社

蘇峰の初日乃ゆる神の森 芦鶴

歌播及言何形

神乃守尾より松又初うらん 日 巴秋

歌泉忍了代八樓

弟代乃るも君も信〜くさの妻 同来嶋 宗慶

歌女流言巖島

つ〜まき君を申よ初日ら菊 日 如泥

歳旦 歌牡丹元老人

阿蘇梅春 止

酒を居る藤 鳥ハ初冬よ

花のまき

歌 かなし

喜興 日 概也

喜もよこ半の来月

まじり初冬

歌泉石伝抄

淡州賀

杜業

浪千里初日超く

宮あうま



歌清宮山歌社

たを長心御芳う山嶽よまきりつ孝

阿州堂浦

其拍

歌勢州後道社

初冬の移まきり嶽まきり花のまき

日吉田

里城

喜興

万歳の神え初まきりまきり山

淡州賀

春州

桜梅まきり井まきりまきり山

全



歌常陸麻島所採

阿久三石

龜孫

齒くくく

ゆきゆきゆき

あゝ

歌和州葛城所採



山々橋くくく  
くくくくく

龜濤

喜興

浪風のあゝとさそり喜の月

皇於

喜謙

くくくくく  
あゝ



歳と 歌藝日社

君う代や ちりちり撫向の

ちりちり

阿蘇書信

龜齡

ちりの吟

人あまのしりしりちりちり  
のちりちりあまのちりちり

浪花

巴波

ちりちりちり

ちりちりちりちり

巴波

歳旦

紀州 近日葺

羅厚

ちりちりちり

ちりちりちり

柳

歳暮

ちりちりちり

ちりちり

喜興

神仙傳の中

宗園

権林の連

ちりちりちり



歳旦

紀州

銀行堂

里菊

あやふくや

うへ 雑考も

市代のも

年尾 歌を公す

あふれく喜多川

根やほの 柳

喜興

風情も

あふ浪花や

梅月夜



蝶ひらく扇ひらく 葉の花並

塔

芦生

松花やさうのまきさき

黄菫菴

あふれく喜多川

七松堂

あふれく喜多川

厚州

土朗

あふれく喜多川

文香舎

あふれく喜多川

五彩堂

あふれく喜多川

落穂舎

あふれく喜多川

二高堂

あふれく喜多川

馬田江

あふれく喜多川

三州

木乃木

あふれく喜多川

つる屋

繼月面あそむるの初う菊江戸 雪中菴  
 島ちく城名陽る雨の柳う菊京 斗雪  
 あれさうしうとぬれさるる喜の山 及古菴  
 君う代や信もたふりよさるる梅 其白菴  
 力あそむる氣うとあそむる梅の香 志流洞  
 喜風や城後まいさく小商人仙臺 危臺  
 岸控る地よる魚うと喜の元遠路の明 小眞  
 船う啼や松のハる山 龍 早南 小眞  
 雪うろさる喜や口乃烟う 海心江戸 成美  
 うらうけぬ喜のんよと落るる喜 津雪菴  
 喜う月う対して梅乃白さるる 喜議

喜興

伊丹

老橋井

藤の心

紫金

よりそよと 笑はるる

世新 うま

喜興

梅うまの  
よの福よ

喜興

殊月を  
喜

嬉

田喜を  
旅

一



